



栃木県立栃木翔南高等学校

全
日
制



所在地 〒329-4407 栃木市大平町川連370
電 話 0282-24-4739
F A X 0282-25-2831
U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/tochigishonan/nc2/>
創 立 平成18年
課 程 全日制課程
設置学科 普通科
生徒数 556名(男子176名 女子380名)(令和3年5月1日現在)
利用交通機関 栃木駅南口から徒歩12分

I 学校の概要

1 学校教育目標

校 訓：自立・叡智・連帯

教育目標：

- 豊かな教養と知性を身に付け、自ら考え、判断し、行動することによって、自己実現を目指す自立した人間を育成する。
- 心身ともに健康で明るく、他人を思いやる心を持ち、社会に貢献できる人間を育成する。
- 多様な文化に対する理解を深め、国際社会で活躍できる能力と品性をもった人間を育成する。

2 目指す学校像

- きめ細かな学習指導及び将来を見通した一貫性のある進路指導を展開して、大学への進学希望の実現を図る学校
- 学校行事や部活動などへの参加を奨励するとともに、地域におけるボランティア活動などの体験的学習を实践して、他人を思いやる心と豊かな人間性をはぐくむ学校
- 国際交流活動の充実や実践的コミュニケーション能力の育成に努めるなど、国際理解教育を積極的に推進して、国際社会を生き抜く高い識見と広い視野を養う学校

3 募集する生徒像

本校の学校教育目標・目指す学校像を理解し、本校を強く志望する生徒で、次の(1)から(3)までのいずれかに該当する生徒

- (1) 大学進学を目指して、自主的で継続的な学習ができる生徒
- (2) 学業と両立させながら、学校行事や部活動などに積極的に取り組むことができる生徒
- (3) 学業に励み、将来、国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲をもつ生徒

II 学校、学科、コース、教育課程等の特色

きめ細かな学習指導及び将来を見通した一貫性のある進路指導を展開し、大学等への進学希望の実現を図ります。2年次より、理系・文系のコースに分かれます。

1 将来を見通した特色あるコース

理系コース（2・3年次） 理数教科を中心に履修し、数学は習熟度別や少人数の選択授業を行います。体験的学習を重視し、宇都宮大学との高大連携科学講座などに参加します。卒業後は、国公立大学や私立大学の理工系、農学系、看護・医療系の大学へ多数進学します。

文系コース（2年次） 国語・地歴・英語を中心に全教科をバランス良く学習します。

文Iコース（3年次） 文Iコースは、国公立大学への進学を目標にしています。数学では少人数の習熟度別授業を実施します。

文IIコース（3年次） 文IIコースは英語、国語、地歴に重点を置いて学習し、私立大学文系学部への進学を目指します。また英語では少人数の習熟度別授業を展開しています。

2 伝統のある国際理解教育

国際理解教育を積極的に推進し、国際交流活動の充実や実践的コミュニケーション能力の育成に努め、文系・理系の枠を超えて、国際社会を生きるための広い視野と行動力を養います。

3 活気のある部活動・学校行事等

学校行事や部活動等への参加を奨励するとともに、ボランティア活動などの体験的学習を実践して、他人を思いやる心と豊かな人間性を育みます。

4 本校の将来の教育展望

“学業プラスワン・可能性への挑戦”

次に述べる3つのことに学校をあげて全力で取り組みます。

- (1) 進学したい大学に合格できる学力の獲得←きめ細やかな学習指導
- (2) 豊かな人間性と教養・品格の醸成←活気あふれる文化・体育・生徒会・ボランティア活動
- (3) グローバル社会で通用する視野・識見の育成←活発な国際交流とコミュニケーション活動

5 入学を希望する中学生への期待

翔南高は、英語が得意で国際交流等に関心のある生徒だけが入る学校だ、と思うのは大きな誤解です。国際化は、今の日本ではごく当たり前の現実となり、翔南高ではこれを意識的に取り入れて、国際感覚や視野の拡大を図ってきたのです。

英語が苦手な生徒も本校に入って努力すれば、十分授業についていくことができます。本校に入学して、周りの人に刺激され、英語が出来るようになった生徒はたくさんいます。

また、理系の進学実績は例年、非常に高く、現在も、2・3年生の5クラス中2クラスが、理系のコースです。

国際交流に限らず、生徒一人一人がやりたいことや夢を発見し、それを実現できる学校、魅力あふれる学校、翔南高はこんな学校を目指していきます。まじめに、ひたむきに努力する中学生の入学を期待しています。

Ⅲ 進路状況

卒業年度		R 2	R 1	H 3 0
進学者数	国公立大	17	37	23
	私立大	151	115	132
	短大	5	4	10
	専修学校	13	22	17
就職者数		1	2	1
その他		7	10	14
卒業生人数		194	190	197

1 主な国公立大学合格数（過去3カ年）

北見工大	北海道教育	岩手大	東北大	秋田大	山形大	福島大	茨城大	筑波大	宇都宮大	埼玉大	新潟大	富山大	信州大	奈良女子大	琉球大	はこだて未来大	青森公立大	岩手県立大	秋田県立大	会津大	前橋工大	群馬健康科学大	群馬県立女子大	高崎経済大	埼玉県立大	千葉保険医療大	都留文科大	長野大	長野県立大	諏訪東京理科大	島根県立大	山口県立大	宮崎公立大	名桜大
1	1	1	1	1	1	3	7	2	11	1	2	1	2	1	1	1	1	1	4	3	5	1	4	8	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2

大学入学共通テスト初年度の入試は、新型コロナ肺炎の影響もあり、高校3年生にはいろいろな難しい対応を迫られた試練の入試でした。そんな中本校の卒業生は、筑波大学、奈良女子大学をはじめとして、北海道の大学から沖縄の大学まで、見事合格を勝ち取ってくれました。本校生の真面目さ、粘り強さが結果に結びつきました。

2 主な私立大学合格数（昨年度）

国際医療福祉大	自治医大	獨協医大	白鷗大	群馬パース大	跡見学園女子大	城西大	東京国際大	獨協大	日本工大	文教大	目白大	十文字学園女大	日本医療科学大	神田外語大	千葉工大	帝京平成大	亜細亜大	大妻女子大	協立女子大	杏林大	駒澤大	大正大	昭和女子大	専修大	中央大	津田塾大	東海大	東京電機大	東京理科大	東洋大	日本大	立正大	神奈川大
12	2	5	33	2	1	5	6	13	14	20	9	2	4	2	3	4	6	2	1	1	7	12	2	3	5	1	6	5	1	18	4	6	2

今春の私立大学の合格者数は339名でした。新型コロナウイルスなどの影響で、例年とはかなり難易度に変化がありました。文教大、東洋大などが昨年と比べて大きく合格者数を伸ばしました。全体としては地元や自宅から通える大学が特に多かったようです。今後もこの傾向が続くかもしれません。今度の入試もコロナの影響も含めて情報収集が重要と思われます。

IV 特別活動等の紹介（学校行事、生徒会活動、部活動等）

1 部活動一覧と活動状況

- 運動部：男子テニス、女子テニス、剣道、男子バスケットボール、女子バスケットボール、陸上競技、野球、男子サッカー、女子サッカー、卓球、女子バレーボール、弓道、ウエイトリフティング、フェンシング、バドミントン、ダンス、水泳同好会
- 文化部：英語国際理解、音楽、美術、書道、科学、放送、茶道、服・食デザイン、写真同好会

令和元年度は、ウエイトリフティング部が関東大会・全国大会に出場し、関東で男子個人6位（2名）、7位、9位、13位、女子個人3位入賞、県内では団体が優勝しました。さらに、フェンシング部がインターハイに出場、弓道部が男子個人で関東大会出場の結果を残しました。文化部では、放送部が全国大会に出場しました。

令和2年度も、ウエイトリフティング部が関東大会・全国大会に、フェンシング部が関東大会に出場しました。

2 特色ある活動－生徒会活動

生徒・保護者の方々や地域の人達が楽しみにしている紫陽祭（学校祭）や、全生徒・教職員が燃える校内体育大会等の行事を、会長を中心として生徒会役員が企画・運営し、全校生が高校生活を豊かに送るよう活動しています。

3 主な行事

1年遠足、2年大学キャンパス見学、芸術鑑賞会、学校祭（紫陽祭）、オーストラリア語学研修、イングリッシュキャンプ、体育大会、翔南一日大学（多数の大学の先生を招いて模擬講義を聴講）、大学との高大連携科学講座、修学旅行、持久走大会、創立記念講演会、合格体験発表会（大学に合格した卒業生による発表会）等。平成27年は、11月に創立10周年記念式典が行われました。



制服（夏服・冬服）



宇都宮大学 科学実験講座



オーストラリア語学研修
(クイーンズランド州 プリスベン市内)



イングリッシュキャンプ
(福島県天栄村 プリティッシュ・ヒルズ)

V 特色選抜について

1 定員の割合

普通科 20%程度

2 出願するための資格要件

人物に優れ、基本的な生活習慣と本校での学習に対応できる学力が身に付いており、次の(1)から(3)までのいずれかに該当する者

- (1) 中学校における学習成績が優秀で、大学への進学を希望し、本校入学後も意欲的に学習に取り組む者
- (2) 中学校で、部活動、生徒会、学級、ボランティアに積極的に参加し、また中心となって活動するなどの優れた能力を持ち、本校入学後も学業と両立させながら特別活動に参加する者
- (3) 国際交流や異文化理解の活動に参加し、顕著な活動実績をあげるなど、国際理解に強い興味・関心をもち、本校入学後も学業に励みながら語学研修などの国際理解に関する行事に積極的に参加する者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
作 文	時間50分 字数600字程度 (資料の読み取りを含む)

4 その他、特記事項

・令和3年度強化推進拠点校 (ウエイトリフティング部 (男子・女子) フェンシング部 (男子・女子))

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」(第1学年～第3学年)の評定(選択教科を除く)を合計する。(135点満点)
また、調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するものを段階評価する。
- 3 面接及び小論文は、段階評価する。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の70%以内にある者(ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者の70%以内にある者)で、面接・小論文の評価が良好である者を選び、合格内定者を選抜する。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、下記の項目を同時に審議し、面接・小論文の評価も含め、総合的に判断して、合格内定者を選抜する。

- ア 【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数が高い者
- イ 資格要件に該当する事項が特に顕著であると認められる者